

にしあいづ

2026
No.810



もくじ - Contents -

P 2 特集 令和8年度 町政方針

P 8 まちの話題

西会津中学校・西会津高校卒業証書授与式
輪投げ大会、西会津かるた大会 ほか

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

町政方針

町政執行にあたっての基本方針

令和8年度は、西会津町総合計画（第5次）に基づき、各種事業を総合的に実施します。特に、人口減少対策の3本柱として「幸福度の向上」「交流機会創出」「持続可能性」を事業推進の基本的な考え方に据え、デジタル戦略の着実な実行とSDGsの推進により町民の皆さんの幸福度（ウェルビーイング）の向上に向け取り組みます。

共育の架け橋、
明日への
まちづくり

子育て支援

町の将来を担う子どもたちの健やかな成長と、若者世代が結婚・出産、子育てに希望を持てるまちづくりに向けて、第3期子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子どもを産み育てられる環境の充実に取り組みます。

出産祝金をはじめ、保育料の無償化、乳幼児家庭子育て応援金の支給、インフルエンザ予防接種の無償化など町独自の取り組みを進めます。

こゆりこども園では、病後児保育の継続のほか、令和8年度からは保護者の就労要件を問わず利用できる乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を開始します。

したプログラミング教育の強化を図ります。

また、令和6年度に開設した「学びあいランド」を軸に、授業だけでは学べない多様な教育活動を推進するため、児童生徒のほか、地域の皆さんの学びの機会を創出します。

併せて、地域の皆さんが学校運営に参画する「学校運営協議会・コミュニティスクール」と地域の教育力を活用した「地域学校協働本部事業」を両輪とした学校と地域の協働・連携を推進し、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。さらに、都市部の子育て世帯が「お試し移住」をしながら、本町の教育環境に触れることができる「教育留学事業」を実施し、子どもも含めた関係人口の創出と将来的な移住定住につなげていきます。

学校給食については、保護者の経済的負担軽減を図るため、令和7年度から実施している学校給食費の完全無償化を継続し、安全で安心な給食を提供していきます。

子育て支援センターでは、相談支援の充実・アウトリーチ型の対応を強化し、子育てサークルの利用促進と気軽に相談できる関係性の構築を図ります。こども園の入園児については、食事・運動・睡眠などの基本的な生活習慣の定着、肥満、口腔や目の健康対策を推進します。さらに、令和8年度からは幼児の成長過程で発達障害が認知される時期である5歳児を対象とした健康診査を新たにを行い、適切な支援につなげます。

また、思春期における子どもたちが性や妊娠に関する正しい知識を身に付け、自ら健康管理に努める「プレコンセプションケア」について、学校や関係機関と連携し取り組みます。

教育環境

中学校生徒の学習用タブレット端末が購入から6年が経過するため最新のものに更新します。

ICT教育環境を最大限活用するため、学習用ソフトの充実や3Dプリンターを活用

西会津高校の支援として、令和8年度から「介護人材育成」の取組みが本格化する。ことから、学校や関係機関との連携・活性化に向けて進めていきます。

生涯学習

生涯を通じた生きがいづくりのため、講座の開催や発表の機会を設け、町民一人ひとりが主体性をもって生涯学習に取り組める環境づくりを進めます。

スポーツ

運動を習慣化するため、気軽に取り組めるグラウンドゴルフやカローリングなどニュースポーツの普及を推進し、ふくしま駅伝や軟式野球大会などの市町村対抗競技やスポーツ少年団など主体的に活動する団体への支援に取り組みます。

歴史・文化・芸術

成果を発表できる機会を設けるとともに、デジタル博物館の準備に引き続き取り組みます。また、伝統芸能の継承と芸術文化活動の支援を行います。





地域資源を
誇り・繋ぎ・育てる
まちづくり

農林業

担い手の減
少や鳥獣被害
の拡大、資材

などの価格上昇に加え異常気象に伴う米の品質低下など、農林業を取り巻く環境は複雑さを増しています。令和8年度は、持続可能な町農林業の成長を実現するため「西会津町農林業振興アクションプラン」に基づき「米」「ミネラル栽培野菜」「菌床キノコ」の振興を町農業の3本柱として各事業に取り組みます。

◎西会津産米

持続可能な生産振興に向けた西会津産米生産力強化事業のほか、水田土壌診断事業、西会津一うまい米コンテストの開催など良食味米の産地化・ブランド化および販路拡

の安全安心な暮らしの確保と快適な住環境の提供に努めます。また、新たな若者向け住宅の整備に向けた動きを進め移住定住の促進を図ります。「特定地域づくり事業」では、マルチワークの仕組みにより安定的な雇用環境と移住者の就業の受け皿の創出を目指します。

後継者対策（結婚支援策）では、後継者対策実行委員会や企業・団体などと連携したイベントの実施や福島県が運営するマッチングシステム「はび福なび」の利用促進、結婚世話やき人の確保・育成を強化します。また、結婚祝い金や結婚新生活支援事業により、経済的負担の軽減を図ります。

大につなげていきます。

◎ミネラル栽培野菜

安心安全な野菜を生産・販売できる体制を目指し、土壌診断システムの運用、単収向上のための土壌病害虫薬剤購入補助事業、糖度測定器によるミネラル野菜の品質と価値向上を図ります。

◎菌床キノコ

産地化に向け、生産者の支援を継続して行います。

◎鳥獣被害防止対策

クマの大量出没により人的被害の危険性が高まっていることやイノシシ・サルによる農業被害が拡大していることから、引き続き鳥獣被害対策専門員を配置し、鳥獣による被害の低減に取り組みます。また、捕獲従事者を対象とした支援制度や捕獲報償金などによる従事者の確保に努め、住民生活の安全安心に努めます。

◎野生鳥獣肉（ジビエ）

町の新たな資源としてジビエの活用を推進するため、出荷制限の解除や食肉処理加工施設整備に向け、国や県・

関係市町村と連携して取り組めます。

商工業

除雪経費の
支援や人材確
保の支援を含
めた「企業支援補助金」など

の補助金を継続するとともに、「無料職業紹介事業」・「創業支援事業」などによる町内企業の支援を進めます。また、町商工会と連携しながら「事業承継」について取り組みます。

また、地域産品のブランド力強化・開発販売戦略を推進します。町内産地を見てまわる「西会津お米産地ツアー」、都内においては町のファンミーティングである「日本の田舎、西会津町。ナイト」を開催するなど、西会津ファンを増加を図り、町の認知度向上と地域のブランド化を推進します。

観光・交流

「西会津なつかしCarショー」や「西会津ふるさとまつり」、「西会津雪国まつり」など町内外から多くの来場者で賑わうイベ

ントの実施により、情報発信と交流人口の拡大を図ります。

また、にしあいづ観光交流協会と連携して観光資源の環境整備を進めるほか、PR動画によるアウトドア資源の活用、新しい源泉となった温泉健康保養センターの魅力などを発信します。

さらに「台湾インバウンドに向けた地域の魅力発信事業」を実施し、新たな観光需要の創出に向けて取り組み、西会津応援大使の皆さんと連携しながら更なる交流人口の拡大につなげます。

移住・定住

お試し移住住宅のさらなる活用や暮らし体験ツアー・首都圏での移住相談など、移住者に寄り添った質の高い支援と情報発信に取り組みます。また、ZEN大学をはじめ各大学や関係団体との交流を深め、関係人口の創出と地域の活性化に取り組みます。

公営住宅については、適切な維持管理を行い、入居者

健康で生涯

これぞ暮らしの
多様性のまちづくり

健康

8年目を迎
える「さす
ねえ輪」の健

康づくり推進事業については、令和7年度「第14回健康寿命をのぼそう！アワード」で「生活習慣病予防分野」厚生労働大臣「最優秀賞」を受賞しました。これは、鎌田實先生や奥知久先生などから指導をいただきながら地域住民同士の「つながりの豊かさ」を活かした健康づくりに取り組んできた成果です。今後も「からだ」「こころ」「つながり」の3つの健康による「さすねえ輪」の健康づくりを推進します。

また、健康づくりの体操「さすねえ輪音頭」や「ラジオ体操」の普及に向け地域に出

向いて実技講習するほか、トレーニングジムの活用など運動習慣の定着化を図ります。食育事業では、これまで児童・生徒を対象とした食について学ぶ体験型の学習活動を実施してきました。令和8年度は新たな食育計画策定のため栄養調査の実施と結果に関する講演会の開催など、町内企業と連携を図りながら広く展開していきます。

健（検）診事業については、引き続き健診結果を理解する機会の充実と二次健診の受診勧奨の強化を図ります。また、人間ドック助成事業についても広く周知し、受診費用の負担軽減と病気の早期発見・早期治療につなげます。そのほか、重要課題である飲酒や喫煙対策については、若い世代や働き盛り世代を対象とした健康教室の実施など健康被害に関する意識付けや、生活習慣の改善につなげます。

また、後期高齢者医療保険制度および国民健康保険制度では、令和8年度より国の少子化対策の一環として子育て

世帯を支える「子ども・子育て支援金」制度が導入されるため新たに保険料が賦課されます。また、後期高齢者医療の保険料・率が改定となり増額が見込まれることや、国民健康保険税についても追加増額となるため、適正な賦課・医療費の適正化に努めます。

医療

本町の国保
診療所は歯科
を除く町内唯

一の医療機関であり、町の医療サービス全般を担っていることから、令和8年度も引き続き常勤医師3名による診療体制の維持・強化を図ります。また、電子カルテシステムの運用により、待ち時間の短縮や診療情報の一元化・集約化など医療事務の効率化を図ります。さらに、会津医療センターや民間病院に非常勤医師の派遣を引き続き要請、整形外科などの診療を継続し、安心できる医療体制の整備と安定した地域医療サービスの充実に努めます。

また、後期高齢者医療保険制度および国民健康保険制度では、令和8年度より国の少子化対策の一環として子育て



町議会3月定例会で薄友喜町長が所信を述べました。

「日本の田舎、西会津町。」 を未来へつなぐため 町民の皆様とともに 歩みを進める。

昨年8月、町民の皆様の温かいご支援をいただき、3度目の町政運営を担わせていただくこととなりました。平成29年の町長就任以来、一貫して町民が主役となるまちづくりを進めてまいりました。

私の町づくりの基本姿勢は「初心を忘れず、常に、町のために全力を尽くし、町のために本気で汗をかき、公平・公正な町政運営を実践し、町民が主役となる町づくり」です。これは3期目を迎えた今も変わることはありません。

この基本姿勢を保ちながら、3期目の公約にかかげた7つの柱を基としたまちづくりを常に念頭に置きつつ、令和8年度を初年度とする第5次西会津町総合計画に掲げる町の新たな将来像「未来を編む。幸せひろがる日本の田舎、西会津町。」の実現に向け、本年も職員と一丸となって取り組んでまいりますので、議員各位並びに町民の皆様の特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

高齢者

「西会津町 地域福祉計画 画・西会津町

地域福祉活動計画」に基づき、全ての高齢者の皆さんが、自分らしく暮らし続けられるように生きがいづくりや介護予防・重度化防止への取り組みや医療と介護・福祉のスムーズな連携のための体制づくりを引き続き強化します。介護老人施設の整備については、引き続き基本計画の策定を進め、財政シミュレーションなどによる検証と有利な財源を確保し、総合的な進捗を図ります。また、認知症予防については初期対応を包括的かつ集中的に行い、自立した生活をサポートする支援チームの機能発揮と本人や家族に寄り添った支援体制として「チームオレンジにしあいつ」の活動推進を図ります。人材の確保と育成については、西会津高校における選択科目で取り組むほか、義務教育の段階においても引き続き福祉と介護について学び考える機会の確保に努めます。

社会福祉

ボランティア活動サポートセンターと

ともに会員自らが得意なことや好きなことを活かす新たなボランティア手法の確立や気運の醸成を図ります。また、一人ひとりが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の推進にも努めます。障がい福祉の充実では、現行の「第7期西会津町障がい福祉計画・第3期西会津町障がい児福祉計画」などに基づき、設置が市町村の努力義務となっている「基幹相談支援センター」について、町民の利便性の確保と支援体制の強化を図ります。

コミュニティ

人口減少や少子高齢化が進む中、集落

機能の維持や活性化に向け、集落支援員などによるサポート体制を強化します。また、都市部の学生や社会人が参加する人足イベントの実施などにより、関係人口や交流人口の拡大を図り、町全域への波及に取り組めます。

情報通信

デジタル変革の促進で

「デジタル戦略」を推進・有効活用し、地域課題の解決や行政サービスの向上、移住定住の促進を図ります。

消防防災 安全対策

令和8年度は、消防ポンプ軽積載車2

台の更新や消火栓の修繕により施設設備の整備を図ります。また、消防団の活動環境の見直しにより消防力の充実強化を図ります。さらに、県で洪水浸水想定区域図を作成したことに伴い、町防災マッ



暮らしを守り、
明日を彩る
まちづくり

雪対策

町雪対策基本計画(第2期)に基づき

官民協働による克雪活動を進めます。町民生活に支障を来たさないよう引き続き道路除雪を遂行し、除排雪に必要な施設整備や除雪機械などの更新を計画的に進めます。

また、高齢者の皆さんが年間を通して安心して生活が送れるように、冬期間の雪対策に限らず、1年を通じた見守りや生活支援の体制確保について、地域の皆さんや関係機関と連携を図り進めます。町民バスについては、町民の皆さんの身近な「足」となる重要な交

生活・交通インフラ

町民バスについては、町民の皆さんの

通手段であるため、各路線の利用状況の分析などにより改善と車両の更新整備を行い、安全で効率的なバス運行を行います。また、西会津タクシーの撤退に伴う住民の利便性の確保対策に取り組めます。道路網の整備については、良質な社会資本を将来へ確実に引き継ぐため、効果的な整備と効率的な維持管理に努めます。町道の改良事業は、地域からの要望に基づき計画的に整備を進めます。舗装については、路線の重要度や損傷度などを勘案し計画的に修繕を進めます。橋梁やスノーシエッドなどの修繕事業については、各種点検結果と長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や路線の重要度などを勘案しながら、計画的に修繕を進めます。農道や林道についても、その開設目的に沿った維持管理に努めます。国・県道については、町を横断、縦断する重要幹線として、その整備や適正な維持管

共生・協創・自主・自立
多彩に輝く
まちづくり

※計画の推進に向けた方向性

協働のまちづくり

「まちづくり基本条例」に基づく町民主体の協働のまちづくりを一層推進します。また、誰もが地域課題を「我がこと」として「まちづくり」に主体的に取り組む意識改革をし、持続

運行財政

ふるさと応援寄附金事業をさらに推進

可能な地域づくりを進めます。そのため「日本の田舎、西会津町。」を最大限活用したブランド力強化・地域活性化起業人の活用と地域産品の開発販売戦略を推し進めます。また、インターネットサイトを活用したPRや現地ツアー、都内でのイベント開催など本町を寄附先を選んでもらえる仕組みづくりを整え、自主財源の確保と西会津ファンの獲得に努めます。

熱戦を繰り広げる 町長杯 争奪親善輪投げ大会



2月20日、さゆり公園体育館で第30回町長杯争奪親善輪投げ大会が開かれ、各老人クラブから34チームが参加しました。試合が始まると、選手の渾身の一投に対し歓声が挙がるなど、会場は熱気に包まれました。

試合結果は次のとおりです。

- 【団体】優勝＝長寿 A、準優勝＝尾登 B、第3位＝萱本 A、安座 A
- 【個人】最優秀賞＝長谷川朝雄さん（安座 A）、優秀賞＝仲川友久さん（長寿 A）、佐藤千枝さん（下谷中央）

郷土の歴史や文化に親しむ 町長杯 西会津かるた大会



2月14日、第8回町長杯西会津かるた大会が野沢体育館で開催されました。2年ぶりの開催となった本大会は、小学生の部（低学年の部・中高学年の部）と一般の部に分かれて試合が行われ「西会津かるた」を通して楽しみながら郷土の歴史や文化に親しみました。

大会結果は次のとおりです。

- 低学年の部 優勝…二瓶燈莉さん（西小2年）
- 中高学年の部 優勝…二瓶遥真さん（西小5年）
- 一般の部 優勝…伊藤陽和さん（西中2年）

農水省 農山漁村振興交付金事業についての意見交換会



2月12日、農林水産省が実施している農山漁村振興交付金事業（以下：農村RMO）についての意見交換会が町役場で実施されました。農村RMOは、地域の人たちが主体となり農村を維持・再生するための事業です。当日は、町をはじめ令和7年度に農林水産省主催のディスカバー農山漁村の宝アワードを受賞した奥川地域づくり協議会のほか農林水産省、東北農政局、福島県などの関係者らが参加しました。実際に農村RMOに取り組んだ奥川地域づくり協議会から、制度では想定されにくい具体的な課題などが共有され貴重な意見交換となりました。

二瓶亮子さん 百歳賀寿贈呈



3月15日、二瓶亮子さん（上野尻）の満100歳を祝う百歳賀寿贈呈式が行われ、薄友喜町長から賀寿の記念品が贈られました。

式では、孫の大島リヨさんから花束が贈られ、亮子さんは「子どもや孫たちがたくさん来てくれて嬉しい。ありがとうございます」と話していました。その後、親族を代表して長男の穰さんが謝辞を述べました。亮子さんの長生きの秘訣は、好きなことをすることだそうです。

西会津中学校卒業証書授与式



3月13日、西会津中学校の卒業証書授与式が行われ、27人の生徒が思い出のたくさんつまった学び舎を旅立ちました。

式では、卒業生自身が漉いた出ヶ原和紙の卒業証書を園部毅校長から一人一人手渡されました。また、在校生代表の渡辺遼太さんによる送辞の後、卒業生を代表して中村莉菜子さんが「みんなと過ごした時間は私の幸せと誇りです。またみんなで笑い合えることを願っています」と答辞を述べました。

式の最後には、卒業生全員で式歌「群青」を合唱し、それぞれが新たな進路への一步を踏み出しました。



西会津高校卒業証書授与式

3月1日、西会津高校の卒業証書授与式が行われ、20人の卒業生が卒業証書を受け取りました。

式では、名嶋明宏校長が卒業生一人一人に出ヶ原和紙でできた卒業証書を手渡し、「これまでの努力が必ず未来を創っていきます。人との繋がりを大切に生きてください」とはなむけの言葉を贈りました。

また、在校生代表の根本爽さんによる送辞のほか、式の最後には物江倅輝さんが「西会津高校で過ごした仲間との絆を人生の糧とし、それぞれの道を歩んでいきます」と答辞を述べました。



▲ 卒業生代表答辞 物江倅輝さん

西中町民図書館 新刊オススメ本

※休館日：毎週月曜日、
第3日曜日

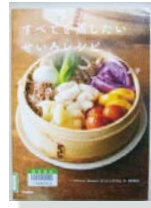


『夏井いつきの
俳句添削事典』
[夏井 いつき 著]
朝日出版社

テレビ番組で大物芸能人相手にも躊躇なくバツサリ切り捨てる俳句添削で人気の俳人・夏井いつきが、608句に及ぶ添削実例から原句と対比させながら、「どう直せばよいのか」をわかりやすく具体的に解説しています。

「季語がない」「凡人ワード」「説明しすぎ」など、俳句で頻出する問題点を項目別に収録しています。

初心者からもっと表現力を磨きたい経験者まで幅広く活用できる一冊です。



『すべてを蒸したい
せいろレシピ』
[りよ子 著]
Gakken



『白鷺立つ』
[住田 祐 著]
文藝春秋



『被告人、AI』
[中山 七里 著]
小学館



『サチコ』
[群 ようこ 著]
幻冬舎

町民ギャラリー 墨嶺会

今月は、真ヶ沢の小野木 麗子さん(雅号：石花)の作品です。

作品介绍 「風信帖、みろくの句」



▶風信帖
弘法大師空海が最澄にあてた手紙です。「ステキな書！」と心惹きつけられ書いてみました。空海は磐梯山にも来ています。中腹には「弘法清水」が流れています。



▲みろくの句
書の指導を受けてから十数年になります。難しい漢文で筆使いを学んでいる途中で、好きな言葉・読める書を書きたくていました。漢字かな交じり書・詩文書の世界で遊んでいます。

沖縄県大宜味村児童との冬季交流事業

雪国の冬を思いきり楽しみました!

沖縄県大宜味村児童との冬季交流事業が2月6日から8日にかけて行われ、児童たちは、昨年7月の夏季交流以来、約半年ぶりとなる再会を喜び合いました。冬季交流では、鶴ヶ城や町交流団の説明による西会津小学校の見学をはじめ、大宜味村児童たちが一番楽しみにしていた雪遊び、合同宿泊などを行いました。昼食には、西会津町の保護者の皆さんが心を込めて調理した、会津の郷土料理「こづゆ」などの提供もあり、たくさん遊んで・学んで・食べてと、児童たちは限られた時間ではありましたが、大いに友情を深めたようでした。



保護者による郷土料理の提供



西会津小で雪遊び!



大宜味小児童によるエイサーの披露



また会えることを願って...



男性の部

- 1 長谷川 正幸 (松尾)
- 2 平野 真 (下野尻)
- 3 那須 寛人 (9町内)

女性の部

- 1 安田 とし子 (さゆりが丘)
- 2 佐藤 君子 (下野尻)
- 3 長澤 文子 (芝草)



▲左から 女性の部 長澤さん、佐藤さん、安田さん
男性の部 長谷川さん、平野さん、那須さん

第4回町長杯健康マージャン大会
2月14日、町公民館で第4回町長杯健康マージャン大会を開催しました。24人が参加した本大会では、和やかな雰囲気ながらも熱い頭脳戦が繰り広げられました。また、参加者同士の交流の輪が広がる充実した大会となりました。



奥川地区 移動美術展開催!

日にち：3月24日～4月10日
時間：9時～17時
※最終日は13時まで
場所：奥川みらい交流館 体育館
入場料：無料

詳しくはこちら▶



問い合わせ先：町公民館
45-3244

子ども英語教室閉講式

2月17日、子ども英語教室「Touch the world」の閉講式を行いました。式では、皆勤賞6人、努力賞5人への表彰があり、長谷沼公民館長と講師のグレゴリー先生から「これからも英語を楽しんでください」とあいさつがありました。終了後は、最後の教室「アイスホッケー」というゲームを行い、白熱した楽しい学習で締めくくりました。



▲アイスホッケーをする
グレゴリー先生と児童たち



▲児童代表あいさつ：渡部颯太さん



▲努力賞：長谷川咲彩さん



町内児童生徒がさまざまな分野で活躍 功績をたたえ 教育顕彰表彰式



町教育委員会では、2月10日に西会津小学校多目的ホールで令和7年度町教育顕彰表彰式を開催しました。当日は、さまざまな分野で活躍した町内児童生徒の皆さん11人のほか、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した山口郁恵栄養教諭が表彰され、併せて耶麻地区学校教育研究作品展の表彰が行われました。表彰者名簿は次のとおりです。

各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒(個人)[敬称略・2月10日現在]

氏名	学校名(学年)	表彰理由
渡部 花乃(堀越)	西会津小・1年	「家庭の日」作品作文部門 小学校低学年の部 最優秀賞
江川 柚穂(10町内)	西会津小・5年	ダイハツカップ in 福島 U-12 女子 福島県サッカーリーグ 2025 優勝
長谷川 里桜(松尾)	西会津小・6年	ダイハツカップ in 福島 U-12 女子 福島県サッカーリーグ 2025 優勝 JFA 第16回全日本女子 U-15 フットサル選手権福島県大会 優勝 JFA 第16回全日本女子 U-15 フットサル選手権東北大会 準優勝
五寧 大陽(下小島)	西会津中・2年	令和7年度全国間税会総連合会「税の標語」 最優秀賞
眞部 煌(芝草)	西会津中・3年	第45回全日本中学選手権競漕大会 男子シングルスカル第4位 東北中学校ボート大会 男子シングルスカル第1位
長谷川 蒼(西原)	西会津中・3年	第12回日本少年野球マツダボール杯 岩手大会 優勝
山口 紗弥(5町内)	西会津中・3年	第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会 優秀賞 第11回ビブリオバトル福島県大会 中学生の部 優勝 第71回青少年読書感想文福島県コンクール 特選
眞部 碧葉(芝草)	喜多方高・1年	第51回東北高等学校ローイング選手権大会 女子ダブルスカル第2位 第52回東北総合スポーツ大会ローイング競技 少年女子ダブルスカル第2位
伊藤 心音(芝草)	会津学鳳高・1年	第71回福島県高等学校体育大会なぎなた競技 団体第1位 全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会 出場
清野 桜大(下小島)	会津工業高・2年	第78回福島県総合スポーツ大会ボクシング競技 少年の部 ライト級 第1位
齋藤 くらら(山口)	会津学鳳高・2年	第10回福島県高校生英語ディベート大会 第1位 全国大会出場

その他教育委員会が表彰することを適当と認める功績があった者

氏名	学校名	表彰理由
山口 郁恵	西会津中 栄養教諭	令和7年度文部科学大臣 優秀教職員表彰 受賞

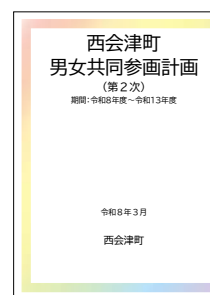
令和7年度 耶麻地区学校教育研究作品展(共同研究の部)

受賞種別	団体名	表彰理由
準特選	西会津小学校	未来を切り開く資質・能力の育成 ～基礎的読解力を生かした算数科における授業づくり～
準特選	西会津中学校	「自ら学び、粘り強く追究する生徒の育成」 ～読解力(リーディングスキル)を意識した授業実践を通して～

老若男女 だれもが暮らしやすい「西会津町の幸せづくり」を目指して 町保健福祉審議会が町男女共同参画計画を審議・決定

2月16日、西会津町保健福祉審議会が町役場で開かれ、「西会津町男女共同参画計画(第2次)」が審議・決定されました。

この計画は、令和8年度から令和13年度までの6年間の計画期間としており、性別を問わず、だれもが自分らしく夢や希望を持ち、家庭や職場・地域社会などあらゆる分野で安心して活躍できる町を共に創ることを目指すものです。



県統計功労者表彰として総務大臣表彰 受賞を報告

3月2日、柴田ゆかりさん(4町内)が町役場を訪れ、令和7年度福島県統計功労者表彰 総務大臣表彰の受賞を町長に報告しました。

柴田さんは、長年にわたり各種統計調査に従事し統計の発展・普及啓発に大いに貢献され受賞となり、薄町長は「統計データは地域づくり・国づくりに大変役立ちます。長い間、大変な業務に携わっていただき感謝しています」と感謝のこたばを述べました。

また、町からは柴田さんのほか、江川誠作さん(牧)が福島県統計協会名誉会長表彰を受賞しました。



町議会臨時会報告

2月24日に臨時会が開かれ、次の議案が原案のとおり承認・可決されました。

◆令和7年度西会津町一般会計補正予算(第7次)の専決処分の承認

＝2月8日に執行された第51回衆議院議員総選挙にかかる所要額の補正

◆令和7年度西会津町一般会計補正予算(第8次)の専決処分の承認

＝令和8年1月までの降雪にかかる除雪費について予算不足をきたしたことによる補正

◆令和7年度西会津町一般会計補正予算(第9次)

＝2月・3月分の除雪費の不足となることから所要額の補正

..... 以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



“西会津町物価高騰支援商品券”

を配付します

町では、エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けている生活者を支援するとともに町内経済の活性化を図るため、町民一人当たり 18,000 円の「西会津町物価高騰支援商品券」を配付します。

西会津町物価高騰支援商品券（見本）



▲橙色が地元店舗専用券。10,000円分を配付



▲青色が共通券。8,000円分を配付

◆利用できる事業所について

- 同封している「西会津町物価高騰支援商品券・取扱店一覧」に記載のある事業所などで利用できます。詳細は、町ホームページでも確認できます。
- 利用できる事業所などには「西会津町物価高騰支援商品券取扱店」の表示がありますので、利用時に確認してください。
- 今後、事業所情報が変更される場合は随時町ホームページでお知らせします。
- 商品券の取り扱いを希望する事業者は、西会津町商工会に問い合わせください。

◆商品券について

世帯主宛てに世帯人数分の商品券を送付します。

◆基準日

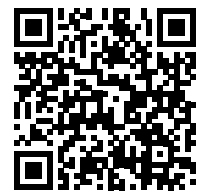
令和 8 年 2 月 1 日に西会津町に住民票がある人が対象です。2 月 2 日以降に転入、出生した人は対象になりませんので注意してください。

◆配付時期

ゆうパックで3月中旬から配付するため、地区や家庭により配付時期が異なります。「近所が届いているのに、まだ自分には届いていない」ということもありますので、あらかじめご了承ください。

◆利用期限について

令和 8 年 12 月 31 日（木）まで



◀ 町ホームページ・取扱店一覧

〈問い合わせ先〉

- ◎商品券の取扱全般、取扱事業者について
町商工会 ☎ 4 5 - 3 2 3 5
- ◎商品券事業全般、配達関係について
商工観光課 商工観光係 ☎ 4 5 - 2 2 1 3

24 人の子どもたちが小学校に入学します ぼくたち わたしたち 新 1 年生！

この春、小学校に入学する
24 人の新 1 年生の皆さんを紹介します。
ご入学おめでとうございます。



1 町内	市川 紗彩さん	森 野 田崎 麗衣さん	上野 尻 伊藤 綾美さん
	阿部 永菜さん	大石 詩さん	檜木 平 曾根 未紗希さん
4 町内	佐々木 綸さん	坂井 珠愛さん	熊 沢 佐藤 伶音さん
5 町内	田部 湊都さん	松 尾 長谷川 蒼人さん	向 原 佐藤 陽翔さん
7 町内	高橋 快斗さん	渡部 月椛さん	
8 町内	高濱 廉さん	西林 東 長谷川 心美さん	
下小屋	高津 和楽さん	さゆりが丘 猪俣 稜さん	
芝 草	眞部 朔羽さん	岩原 のどか 和奏さん	
	佐藤 万臣さん	縄 沢 二瓶 真帆さん	
堀 越	伊藤 陽咲さん	牛 尾 目黒 夏渚さん	

名簿は令和 8 年 3 月 19 日時点です。

〈問い合わせ先〉

学校教育課 教育総務係
☎ 4 5 - 2 2 1 6

西会津古建築MAPを作成しました

町では、古民家を記録・保存するとともに、町の魅力を国内外に発信するため、倒壊や解体されてしまう恐れがある建築物や特徴的な古建築物などをまとめた「西会津古建築MAP」を作成しました。

このマップは、古建築に詳しい専門家・渡邊義孝氏が町内の各地区を調査して専門的な知見から選定し、自ら描いたイラストを掲載しています。マップには古建築物のほかに、観光施設や飲食店・宿泊施設も掲載され、スマートフォンやパソコンを使って見ることができます。利用にあたっては、マップに表示される注意事項を確認して利用してください。



〈問い合わせ先〉 企画情報課 デジタル戦略室
☎ 4 5 - 4 5 3 6

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。





お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
4月の放送案内

農林業番組、生涯学習発表会などを放送予定です。インターネット接続サービスはケーブルテレビまでどうぞ！

〈問い合わせ先〉
(二社)西会津ケーブルネット
☎45-4461



家庭血圧計の
購入費補助を
実施しています

町では、脳血管疾患などの予防対策の一環として、家庭での血圧測定を広く普及するため「自動電子血圧計購入費補助事業」を実施しています。補助金額は、1台あたり購入金額の3分の2以内(上限5000円)で、初めて購入する人だけでなく、すでに自動電子血圧計を持つている人で、更新のために購入する場合も対象となります。



なお、申込方法などの詳細は左記まで問い合わせください。
※補助金の交付は、過去5年間に交付を受けておらず、町内取扱店から購入した場合に限ります。
〈問い合わせ先〉
健康増進課 保健係
☎45-4532

コンビニ・スマホアプリで町の税金が納付できます

町から発行された納付書(町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税)はコンビニ・スマホアプリを使って納付することができるようになりました。※4月以降に発行されたバーコード付き納付書が対象

◆取扱い店舗
セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン ほか
◆MXX設置店
(リオン・ドール、ウエルシアグループ、イオンなど)
◆スマホアプリ
楽天銀行アプリ、PayPay、ファミペイ、楽天ペイ、PayB、au PAY、AEON Pay

納付できる場所については、納付書の裏面に記載してあります。忘れずに納付しましょう。
〈問い合わせ先〉
町民税務課 税務係
☎45-2212



緊急通報システムで高齢者の生活を見守ります

緊急通報システムは、急に体調が悪くなった場合や火事など日常生活で困った時に緊急通報装置の非常ボタンを押すだけで、24時間365日、インターネット緊急通報センター(会津若松市)に連絡できるシステムです。インターネットでは、通報内容に応じて、見守り協力員や緊急連絡先の家族への連絡、救急車の手配を行います。また、インターネットが依頼している地域の警備員が確認に駆けつける場合もあります。

◆対象者
おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や障がい者などで見守りが必要な人。ただし、利用の決定は次の条件を加味して町が決定します。
①介護保険法における要支援以上の高齢者
②重度心身障がいのある高齢者
③現在、保健・福祉サービス

水道メーター検針再開のお知らせ

4月からメーター検針を再開します。毎月20日(22日に検針員が検針を行います)のでメーターボックス周辺の除雪・片付けをお願いします。

◆冬期間の水道料金
9月～11月分の使用水量の平均で納めた12月～3月分の料金は4月の検針結果に基づき、過不足分を精算します。
◆次のような場合は届出を
○水道・下水道の使用を開始、止めるとき(届出は5営業日前まで)
○長期不在になるとき
○世帯人数に変更があるとき
○転入・転出・出生・死亡など
○使用者(または所有者)名義の人が亡くなった、または転居したとき

○水道・下水道使用料金を口座振替にする、または振替口座を変更するとき
〈問い合わせ先〉
建設水道課 上下水道係
☎45-4534

漏水などによる水道料金の減免

水道管の凍結や老朽化などによる漏水が原因で水道使用料金が高額になった場合、町指定給水工事業業者による漏水修理を行い減免申請をすることで、水道料金の減免措置を受けられます。

◆減免の対象となるもの
○地下漏水など(給水管破裂、接合不良、メーター接合不良、壁の中などの容易に見えない給水管破裂など)
○不凍水抜栓の不良による漏水(接合不良、パッキン不良など)
○特殊器具および高架タンクの給水設備の器具不良による漏水

○凍結に伴う給水管破裂による漏水(積雪のため漏水箇所が容易に見えない場合に限り)
○不凍水抜栓の操作不良による漏水(半開閉など)
〈問い合わせ先〉
建設水道課 上下水道係
☎45-4534



※故意に給水装置を損傷させた場合や、漏水の事実を知りながら修理を怠っていた場合などは対象外です。
◆減免となる料金
メーター検針で分かった水量から、前年同時期の使用水量または前3カ月平均使用水量のいずれか少ない方を差し引いた水量の2分の1を免除します。免除する期間は最高4カ月までです。
◆減免の申請方法
減免申請書などは、町指定給水工事業業者を通じて作成しますので、施工業者に相談してください。
◆町指定給水工事業業者
事業者一覧表はこちら
町ホームページ・事業者一覧表はこちら
〈問い合わせ先〉
建設水道課 上下水道係
☎45-4534



福島レッドホープス
公式戦を開催!

福島レッドホープスの公式戦が、今年もさゆり公園福島レッドホープス西会津球場で開催されます。

◆日時
4月29日(水)
午前11時45分～開場
午後1時～試合開始予定
◆対戦相手
埼玉武蔵ヒートベアーズ
◆前売券販売
イープラス、ファミリーマート、にしあいづ観光交流協会

◆問い合わせ先
商工観光課 商工観光係
☎45-2213



4月6日(月)～15日(水) 春の全国交通安全運動期間です

10日(金)は交通事故死ゼロを目指す日です。

◆運動スローガン「おまじない 自分を守る みぎひだり」

◆年間スローガン「ゆずりあい 人も車も いい笑顔」

- 1 通学路・生活道路における子どもを始めとする歩行者の安全確保
- 2 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先などの安全運転意識の向上
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

令和8年度 児童手当に関する手続きについて

多子加算の手続きについて

令和6年度の児童手当法の改正に伴い、高校を卒業した後も22歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子（大学生年代までの子）については、第3子以降加算（多子加算）の算定対象となりました。

高校などを卒業した後も継続して子を監護相当および生計費の負担をし、受給者に経済的負担がある場合は、受給者からの申請が必要です。



対象者

- 子が3人以上おり、高校を卒業する（18歳年度末を迎える）子がいる
- 子が3人以上おり、高専・短大・専門学校などの卒業予定年月が22歳年度末前に到来する子がいる（令和8年3月卒業予定の子）
- 子が3人以上おり、新たに養育することとなる子がいる

※1および2に該当する受給者には、3月中旬に通知を送付しています。

申請方法

令和8年度、新たに大学生年代になる子がいる場合は、受給要件の確認が必要です。該当する大学生年代の子を監護し生計費を負担している人は、通知書に同封した「監護相当・生計費の負担についての確認書」を提出してください。

新たに大学生年代の子を養育し、多子加算の算定対象となる場合は、子育て支援センターまで問い合わせください。

申請期限および申請先

4月15日（水） 福祉介護課 子育て支援係（子育て支援センター）

◆次の場合は随時変更手続きをしてください

- ・児童を養育しなくなったなど、支給対象となる児童がいなくなったとき
- ・受給者、配偶者、児童の氏名や住所が変わったとき
- ・一緒に児童を養育する配偶者を有するに至ったとき、またはなくなったとき
- ・受給者の加入する年金が変わったとき など

◆公務員の場合

勤務先から児童手当が支給されます。

新たに公務員となった場合や退職により公務員でなくなった場合などは、事由が発生した日の翌日から15日以内に届出・申請が必要です。

※手続きが遅れると受給できない月が発生する場合があります。

〈問い合わせ先〉 福祉介護課 子育て支援係
☎ 45-4332

国保診療所からのお知らせ

◆西会津診療所（4月～）
整形外科の診療日が変更となります。
毎週水曜日 午前中のみ。※予約制

◆奥川診療所（4月～）
診療体制が変更となります。

【新体制】

第1火曜日→山内常男 医師
第3火曜日→岡崎栄和 医師

ご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

西会津診療所 ☎ 45-4228

冬眠明けのクマに注意！

冬眠明けのクマは、エサを求めて活発に活動します。早朝・夕方の農作業や散歩、山菜採りなどで野山に入るときは、クマ鈴やラジオなど音の出るものを身に付け、クマと遭遇しないよう十分に注意しましょう。



〈問い合わせ先〉
農林振興課 林政係
☎ 45-4531

山菜類モニタリング検査を受付中

県内で生産または採取・出荷される野生山菜、栽培キノコなどは安全性を確認するため、モニタリング検査を実施しています。

出荷する場合は、採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施するように願います。また、検査を希望する場合は、事前に左記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉
農林振興課 林政係
☎ 45-4531

経済センサスを実施します

総務省と経済産業省で「経済センサス―活動調査」を実施します。

この調査は、全国すべての事業所および企業を対象に、売上金額や経理項目などの経済活動状況を全国的・地域別に明らかにすることを目的としています。調査結果は、行政施策の立案や民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く活用されます。

◆調査方法

4月以降、国から各事業所へインターネット回答に必要な書類が郵送となります。※インターネット回答をしなかった事業所や新たに国で把握した事業所には、調査員が紙の調査票を配付します。簡単便利なインターネット回答にご協力ください。

〈問い合わせ先〉

企画情報課 未来デザイン室
☎ 45-4536

町内事業者の賃上げを支援します

県が実施する最低賃金の引上げにより影響を受ける事業者支援に併せ、町でも上乗せ支援を行います。

- 対象：町内に事業所を有する中小企業など
- 内容：対象労働者1人につき2万円
- 申請期限：7月31日（金）まで
- その他



・補助内容や申請方法については町ホームページまたは商工観光課まで問い合わせください。

・県の支援については、県雇用労政課のホームページにある特設サイトより申込可能です。

※県の申込は5月31日（日）まで

【申込・問い合わせ先】

商工観光課 商工観光係 ☎ 45-2213

エネルギー価格高騰の影響を受けている町内事業者を支援します

- 対象：町内事業者（農林業など一部を除く）
- 内容：業務を行う上で使用した「電気」「燃料（重油やガソリンなど）」

令和7年7月から12月までの任意の4カ月の合計額

令和2年から令和6年の任意の同月の合計額

= **2万円以上** で申請できます

■補助率：1/2

■補助金額：下限1万円から上限100万円

【申込・問い合わせ先】

町商工会 ☎ 45-3235



4月休日当番医

日	医療機関名	電話番号	市町村
5日(日)	小島原内科クリニック	0242 (36) 6533	会津若松
	穴沢耳鼻咽喉科医院	0242 (29) 0033	
	有隣病院	0241 (24) 5021	喜多方
	大竹内科	0241 (22) 0241	
12日(日)	長谷川内科消化器科医院	0242 (22) 7180	会津若松
	かべや耳鼻咽喉科	0242 (24) 4133	喜多方
	佐原病院	0241 (22) 5321	
	小野クリニック	0241 (22) 0414	
	星医院	0242 (83) 2136	会津坂下
19日(日)	いとう子どもクリニック	0242 (27) 4601	会津若松
	耳鼻咽喉科鈴木医院	0242 (28) 3387	
	県立医科大学会津医療センター	0242 (75) 2100	喜多方
	医療生協きたかた診療所	0241 (23) 3611	
26日(日)	佐藤医院	0242 (26) 3515	会津若松
	あいづ整形外科リハビリテーションクリニック	0242 (28) 1205	喜多方
	有隣病院	0241 (24) 5021	
	喜多方地域・家庭医療センター	0241 (24) 5320	
29日(水) 昭和の日	寿松堂渡辺医院	0242 (83) 3125	会津坂下
	渋川クリニック	0242 (23) 7022	会津若松
	五十嵐整形外科ペインクリニック	0242 (36) 5501	
	佐原病院	0241 (22) 5321	喜多方
喜多方腎・泌尿器クリニック	0241 (23) 5531		

4月の休日歯科医

日	医療機関名	電話番号	市町村
5日(日)	佐野歯科医院	0242 (22) 1726	会津若松
12日(日)	シンドウ歯科	0242 (29) 0040	
19日(日)	高島歯科医院	0242 (22) 2539	
26日(日)	小山歯科医院	0242 (28) 0180	
29日(水)	筒井歯科医院	0242 (26) 8371	

【注意】休日当番医・歯科医は変更になる場合があります。ご確認の上ご利用ください。



診療所の土曜・ 4月整形外科診療日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○ 土曜診療日
 ○ 整形外科診療日(予約制)
 西会津診療所 ☎ 45-4228

納税・公共料金

- ◆水道料金・下水道料金
- ◆ケーブルテレビ使用料
- ◆インターネット使用料
納期限 4月10日(金)
- ◆軽自動車税種別割
納期限 4月30日(木)

心配ごと相談

- ◆日時
4月7日(火)、27日(月)
各日午前9時～正午
- ◆場所
老人憩の家
〈問い合わせ先〉
町社会福祉協議会
☎ 45-4259



人間ドック助成事業申込のお知らせ

町では、健康増進および健康寿命の延伸を図るため、人間ドックを受診する人へ助成金を交付します。

1. 対象者

- ①町に住所のある町民のうち40歳以上の人
(昭和62年3月31日以前生まれの人)
- ②令和6年度および令和7年度に本事業の助成を受けていない人



2. 申込方法

町指定の交付申請書(申込書)を記入し町役場健康増進課に提出してください。
 ※交付申請書は町ホームページからダウンロードまたは健康増進課窓口で受け取ってください。

3. 申込受付期間

4月13日(月)から4月24日(金)まで
 (平日 午前9時～午後5時まで)

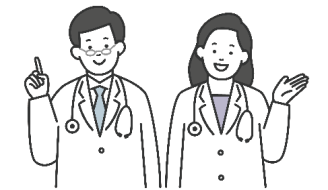
【ご注意ください!】

※直接医療機関へ人間ドックの申し込みをした場合は助成の対象になりません。

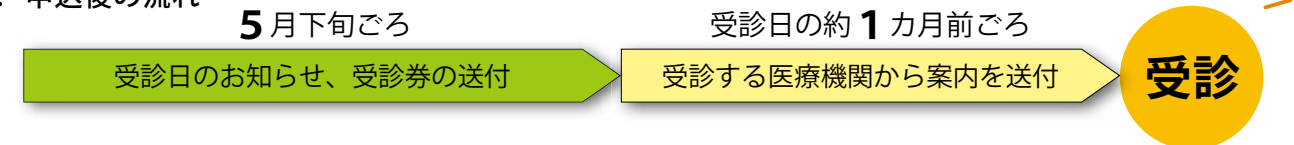
※申し込みが定員を超えた場合は抽選を行います。

抽選の結果人間ドックを受診できなかった場合は町の集団健診を受診してください。

なお、人間ドックを受診した場合は、町の集団健診(特定健診・健康診査、がん検診)は受けられません。



4. 申込後の流れ



5. 助成額及び自己負担額について(※助成金は町から医療機関へ直接支払います)

受診(助成)回数	助成金額	自己負担額
1回	上限30,000円まで	受診金額から助成金額を除いた金額が自己負担額です。 人間ドック受診時に医療機関へお支払いください。

6. 受診できる医療機関および主な検査項目(共通項目)

特定健診の項目(内科健診、身体計測、血液検査、尿・血圧など)
 がん検診の項目(胃カメラまたはバリウム、胸部X線、検便など)

医療機関名	受診期間	参考金額(税込)	受診枠
会津中央病院	7月～9月まで	40,700円	25人程度
竹田総合病院	7月～12月まで	45,980円	15人程度
坂下厚生総合病院	6月～11月まで	39,600円 ※組合価格あり	14人程度
佐原病院	7月～12月まで	29,000円	16人程度

※共通項目以外のオプション検査を受診する場合は別途追加で料金が発生します。

詳しくは、申請の際に健康増進課窓口で確認してください。

参考金額は令和7年度の実績ですので、変更になることがあります。

◆詳細は別途配付のチラシで確認ください

〈問い合わせ先〉

健康増進課 保健係 ☎ 45-4532



集落支援だより

地域おこし協力隊の小松です。

寒かった冬も終わり、春を感じる季節となりました。

今月は、2月に行われた主な活動についてお知らせします。



地域おこし協力隊 集落支援担当

小松 慎吾 隊員

医大生が 奥川にきました

去る2月12日～13日、事務局として活動している奥川地域づくり協議会は、地域包括ケア研究所の協力のもと、複数大学の医学生を対象とした地域研修を実施しました。

参加した学生は、住民主体の健康づくり活動「さすけねえ輪」や地域づくり活動の現場に触れ、健康が「からだ」だ

けでなく「こころ」や「つながり」によって支えられていることを学びました。また、住民との交流や体験を通じて、地域で暮らすことや地域医療の意義などの理解を深める機会となりました。

同日は、偶然西会津町に来ていた、千葉県看護学校に通う学生と夕食を共にし、同じ医療の道を歩く者同士、大変盛り上がった会食となりました。



▲医大生と看護学生の皆さんと「さすけねえ輪」

雪国体験事業

2月21日～22日、福島大学行政政策学類・岩崎ゼミの学生を対象に、冬季の地域資源を活用した「雪国体験事業」を実施しました。当日は、積雪不足により内容を一部変更しての実施となりましたが、学生たちは、有害鳥獣対策担当者によるジビエや地域資源循環について学びました。



また、杓と臼を使った昔ながらの餅つき体験なども行い、地域の暮らしや資源活用の知恵に触れ、雪国の生活文化や自然との関わりについて理解を深め、地域の魅力を体感したようでした。私たちが集落支援担当の地域おこし協力隊員にとっても「雪がなくても雪国体験の提供できる」という成功体験にもなり、今後の活動に向けて大きな自信となりました。

2年目が 始まりました

地域おこし協力隊として2年目を迎えました。思っていた仕事とは違う領域に向き合う日々ですが、気づけば営業マン時代の経験を総動員して走り回っています。

長女は高校へ、四女は小学校へ。小松家もまた新しい生活のスタートです。家族とともに成長しながら、これからも西会津町の皆さんと歩んでいきたいらと思えます。



新学期・新生活

ストレスに負けない！

コツを学ぼう

新学期や新生活のスタートには期待もふくらみますが、同時にストレスを感じやすい時期でもあります。乗り越えるためにはちょっとした工夫が役立ちます。今回は、新学期・新生活におけるストレスの対策についてお伝えします。

新しい環境への適応力を高めよう

●食事と睡眠の習慣を整える

朝食やバランスのとれた食事をとることは心身の安定につながります。また、十分な睡眠を取ることもストレスへの耐性を高めます。



●自分に合った気分転換をする

勉強や仕事の合間に深呼吸をする・お茶を飲むなどの気分転換をすることで緊張をほぐすことができます。

●適度な運動でストレスを発散する

身体を動かすことでストレスホルモンが減少し、心が軽くなります。散歩やストレッチなど、簡単な運動がおすすめです。

●リラックスできる趣味や時間を作る

読書をする・音楽を聴く・絵を描くなど、自分が好きなことを定期的に行い、心が穏やかになる時間を作りましょう。



●「自己紹介」の準備で安心を得る

新たな出会いが不安な場合、簡単な自己紹介を事前に準備しましょう。趣味や目標を盛り込むと会話がスムーズに進みます。

ストレスが溜まりやすい時期は特に注意！

●日記やメモで自己管理をする

目標や出来事を文章化すると、ストレスの原因や対処法が明確になり安心感が生まれます。

●小さい目標を設定し達成感を積み重ねる

ストレスの大きな課題も小さく分割すれば取り組みやすくなり、達成の喜びが新たな自信や挑戦につながります。

●身近な人とコミュニケーションを取る

身近な友人や家族に自分の思いを話すだけでも気持ちが軽くなることです。また、会話を通じて新しい視点が得られるかもしれません。



●相談窓口を活用する

町や学校にある相談窓口では、こころの健康に関する不安や悩みを相談することができます。一人で抱え込まず、気軽に相談してみましょう。

適切に対処することで心身の健康を保つことができます。

新学期・新生活をより良いものにするためにストレス対策を生活に取り入れて、健やかなスタートを切りましょう！

戸籍の窓口 (2月受付分)

■ まちの人口

	3月1日現在	(前月比)
人口	5,211人	(-15人)
男	2,546人	(-11人)
女	2,665人	(-4人)
世帯	2,408世帯	(-5世帯)

■ お誕生おめでとう

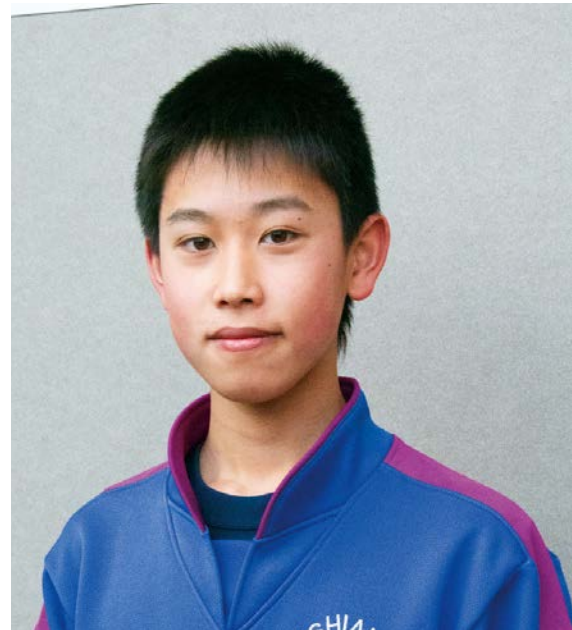
菅野 菜結ちゃん 佳大・沙紀 下野尻

■ お悔やみ申し上げます

山本 衛 (92)	善一	父	牧
高橋 敏丸 (94)	光雄	父	山口
貝沼 ミイ (95)	正美	母	上野尻
渡部アキノ (94)	憲一	母	宝川
斎藤 春雄 (73)	文子	夫	屋敷
齋藤カツヨ (96)	常幸	母	橋屋

Dream

聞いて！わたしの夢



[西会津中 3年・卓球部 部長]

にしだ やまと
西田 大和 さん

◆私の夢——

将来の夢はまだ決まっていますが、動物が好きなので動物に関わる仕事に就きたいと考えています。

僕は今、元野良猫をペットとして飼っているのですが、まだまだ西会津にはたくさん野良猫がいるのが現状です。そんな可哀な猫たちを一匹でも多く助けてあげられるような人になりたいです。

◆努力していること——

動物にも人にも優しく接するように心掛けています。

◆未来の自分に一言——

目標に向かってがんばってください。

Person

町民バトンタッチ

あべ ともみ
安部 友美さん [上野尻]

◆趣味

バイク・バレーボール

◆特技

バレーボール？

◆熱中していることは？

キャンプ用品を見ること

◆自分を一言で表現すると？

でかい

◆あなたのモットーは？

なせばなる！

◆最近感動したことは？

娘がバレーボール大会で優勝したこと

◆これからやりたいことは？

デイキャンプ

◆次の方を紹介してください

M・Aさん

とっておきのものは？

子どもの頃から一緒に育ち、大人になった今でも集まってイベント・遊びなどできる仲間たちとの写真です！



青津 泰平さん (3月号) からメッセージ

今後も縄沢青年会を沸かせましょう！



Column

協力隊リレーコラム

移住して幸福度が増えました！

地域おこし協力隊、集落支援担当の佐々木和代です。昨年4月、広島県から移住して、この春でちょうど1年を迎えました。

西会津町での暮らしは、気候や文化、言葉、食べ物など、毎日が新しい発見の連続です。四季折々の美しい風景や、澄んだ空気の中で聞こえる鳥のさえずりに癒され、住民の皆さんのあたたかさや元気に触れるたび、心が豊かになります。

暮らしの中で、人とのつながりや心の豊かさの大切さを改めて感じ、移住前よりも幸福度が増したと実感しています。これからも自然とともにある暮らしを楽しみながら、皆さんとのご縁を大切に、西会津町の魅力を未来へつないでいけたら嬉しいです。今後どうぞよろしくお願いたします！



ささき かずよ
佐々木 和代 隊員

広島県福山市出身。元保育士。集落支援担当として、奥川みらい交流館に勤務。

自然、動物が大好きです。



3月1日に行われた、西会津高校卒業式より



地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 番外編

「会津の文化人」宮城三平翁の偉業

文：矢部 征男

「会津の文化人」とも称される宮城三平翁は、文政3年（1820）、奥川吉田組郷頭家の長男として生まれました。7歳にして館原代官所（喜多方市山都町）において村役人としての教育を受け、16歳で会津藩校「日新館」に入り文武両道の教育を受けています。さらに向学心に燃え、会津藩の特別推薦により江戸幕府最高学府である「昌平黌」へと進んでいます。5年後帰郷し郷頭職を継ぎますが、やがてその職を末弟に譲り、伊勢・熊野・京都から広島へと127日間の西遊を行います。

戊辰戦争後、明治政府の誕生により若松県の地租改正係や『地誌提要』編纂係を命じられ、そのため県内各地を踏査し、のちその一部は『会津温故拾要抄』として出版されています。

また、明治11年（1878）に肝煎の職を辞したのち、全国の山稜参拝のため三度にわたる西遊を行っています。最初は133日間、二度目は明治18年（1885）に89日間、三度目は明治24年（1891）に67日間の旅となりました。明治18年の二度目の西遊は鹿児島までの船旅もあり、交通機関が十分発達していないこの時期の旅は、想像を絶する危険や困難を伴ったようです。

参拝した120の山稜から「霊石」を拝領し、帰郷後これを石棺に収めて「山陵塚」を建設、さらに各地から三百余九十五種の花を収集して「花塚」を築き、村民に毎日巡拝するよう説いたと伝えています。

晩年、居宅裏山裾に「不求庵」と名付けた草庵を造り、多くの文化人との交流や著書・絵画の整理を行ったといえます。

近江国（滋賀県）の名勝地「唐崎の松」が枯死したとの情報を聞き、実生から育てたという「唐崎の松」もあったといいますが、今では建物は倒壊し、当時の新潟県知事からの「千歳幽契」の題字と武井柯亭筆による碑が遺るだけとなっています。



▲不求庵

【にしあいづ物語100選】終了のお知らせ

平成29年5月号より連載がスタートした「にしあいづ物語100選」は、令和8年1月号をもって100選目を迎えることができました。

毎月楽しみにして下さった皆さん、執筆いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

次号からは紙面構成を一部変更し、お届けします。

また、物語100選は町ホームページでもお楽しみいただけますのでぜひご覧ください。（問い合わせ先：町公民館 ☎45-3244）



▲詳しくはこちら

今月の表紙

今月の表紙は、3月13日に行われた西会津中学校の卒業式から。卒業生たちの晴れやかな笑顔と少しの涙。心温まるひとときを表紙にお届けします。

卒業生のみなさん、おめでとうございます。

編集後記

ようやく暖かくなって来て春を感じる今日この頃。つい薄着で外出すると、思ったより寒く「まだ早かったかも」と後悔することも。季節の変わり目は油断大敵ですね。皆さんも春のふりをした冬の最後のひと踏ん張りにご注意ください！

今月の広報は春っぽさ満載でお届けしています。広報紙をお供に、季節を味わっていただけると嬉しいです。（三留）

